

2026年5月7日

第8回 国際 建設・測量展(CSPI 2026) アクティオが誇る最先端の商品を出展

アクティオブース 幕張メッセ Hall2 屋内 06-10,06-11

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、2026年6月17日(水)~20日(土)の4日間、幕張メッセで開催される建設業界・測量業界の展示会「第8回 国際 建設・測量展(CSPI 2026)」に出展いたします。



昨年の様子

現在、建設業界は人手不足や働き方が大きな課題となっており、建設 DX に代表される生産性向上に関する技術開発や実用化が急務となっています。また、国土交通省が推進する「i-Construction」により、建設現場では一層の ICT 化が求められています。

このような課題を解決するために、今回アクティオは、現場環境の改善や業務効率の向上に貢献する最先端の商品を出展。アクティオの技術力や提案力を象徴する機械をご紹介します。

さらに、グループ会社であるエスアールエス株式会社、株式会社櫻川ポンプ製作所から、多分野で活躍する商品を出展いたします。

また、20日(土)は一般のお客様にも公開されます。アクティオは通常の展示ブースに加え、キッズパークを出展し、子どもたちが楽しめる体験型コンテンツを多数用意する予定です。

※16歳以上の方は来場登録が必要です

<展示一例>

■冷える～む3 <アクティオオリジナル>



「冷える～む3」は、建設現場の暑熱対策に活躍する冷房機能付きテント型休憩所です。

2台のスポットクーラーから出る冷気を効率よく循環させることで、室内温度を下げます。また、オプションの吊りテントを併用することでテントの横幕との間に空気層が生まれ、断熱性能がさらに向上し、外気温と比べて最大14度の冷却効果を発揮します。

設営は作業員2人で約6分と極めて短時間。テント同士を連結して広さを自由に調整できるため、用途に合わせた柔軟な空間作りが可能です。

■軌陸バックホーアタッチメント「G4-Ⅲ」

「G4-Ⅲ」は鉄道の軌道保守作業における枕木交換の効率を向上させるアタッチメントです。

グリッパー機能と4頭タンパー両方の機能を備え、約2分という短時間で機能を切り替えることが可能です。従来必要だったアタッチメントの付け替え作業が不要となるため、作業の中断時間を大幅に削減します。



■TawaRemo®(タワリモ)

「タワリモ」はタワークレーンの運転席には搭乗せずに、離れた場所からでもクレーンを遠隔操縦できるシステムです。ビルと同じ高さにある運転席まで梯子を使って昇降する必要がなくなります。専用コックピットには、運転席で作業しているかの様な映像が映し出され、オペレーターは実際の運転席に近い感覚で操作ができます。

■LRTK Phone

「LRTK Phone」はLiDARセンサーと写真測量を組み合わせた高精度な点群スキャンから、杭打ち誘導も可能な座標ナビ、AR投影、GNSS測位、土量計算までこなせる万能測量機です。様々な場面での活用が可能です。iPhoneに専用アンテナを取り付けることで、誰でも簡単にcm精度での3D測量を可能にします。



■開催概要

展示会名称	第8回 国際 建設・測量展(CSPI 2026)	
会期	2026年6月17日(水)・18日(木)・19日(金)・20日(土) 10:00~17:00[最終日20日のみ16:00まで]	
会場	幕張メッセ 1~8 ホール・屋外展示場・屋外展示場 ANNEX	
主催	国際 建設・測量展 実行委員会	
後援(予定)	内閣府 デジタル庁 経済産業省 国土交通省 環境省	
協力(予定)	(公社)土木学会 (一社)全国土木施工管理技士会連合会 (公社)全国解体工事業団体連合会 (一社)日本建設業連合会 (一社)全国建設業協会 (一社)国際建設技術協会 (一財)建設業振興基金 (一社)日本建設機械工業会 (一社)日本建設機械施工協会 (公財)日本測量調査技術協会	(公社)日本測量協会 (一社)日本測量システム工業会 (一社)全国測量設計業協会連合会 (一社)建設コンサルタンツ協会 (一社)日本橋梁建設協会 (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 (一社)ドローン測量教育研究機構 (一社)日本 UAS 産業振興協議会
協力展示会	関西物流展	
公式HP	https://cspi-expo.com/	

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸

すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、吉田

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp